



ブック戦隊  
ヨムンジャー

<https://library.town.yakage.okayama.jp/>

文化センター前のカエデがきれいに紅葉して、秋らしさを感じながら日々、仕事をしています。

さて、11月は矢掛町立図書館読書月間です。様々なイベントを用意して、皆様のご来館・ご参加をお待ちしています!!

## 読書月間の主なイベント

※行事に参加される方は、マスクの着用をお願いします。体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。なお、今後の感染状況により、行事が中止になる場合があります。

### ●あなたのおすすめの本 大募集!

募集期間：11月中

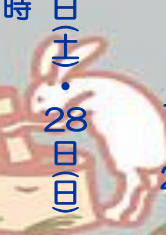
おすすめの本を専用の紙に記入して所定の箱に入れてください(本は矢掛町立図書館所蔵のものに限りません)。11月中、本と一緒に館内に展示します。

### ●スタンプラリースペシャル

スタンプを集められる期間：11月中旬  
粗品引換：11月23日(火)～12月26日(日)

### ●雑誌リサイクル

日にち：11月27日(土)・28日(日)  
時間：10時～15時  
保存期間の切れた雑誌をさしあげます。お一人様一日10冊までとさせていただきます。



## 干し野菜

〜生野菜では味わえない魅力〜

太陽をいっぱい浴びたうれしいポイント

- ①野菜本来の旨味、甘みがぎゅっと凝縮する
- ②歯ごたえがアップし独特の食感が生まれる
- ③かさが減るのでたくさん食べられる
- ④捨ててしまいがちな野菜もムダなく使える
- ⑤おいしい料理が短時間で簡単に作れる
- ⑥切り方や干し方を工夫して、自分好みの野菜が作れる

### 下準備

野菜をしっかりと洗い、土や汚れ、農薬などを落とします。水分をつけたまま干すと、乾燥しにくく、カビが生えやすくなるので、キッチンペーパーなどでしっかりと水分をふき取ってください。また、干し野菜にすると、皮の風味や旨味を楽しめるため、皮つきでも美味しく食べることができます。

### 季節と時間



作るのに適しているのは、乾燥した寒い冬か、天気もよく風通しもよい春～初夏、あっといふ間に水分が蒸発する夏です。

日差しが強くカラッと晴れた日に、庭やベランダの風通しのよい場所に干します。干し野菜や干物用、アウトドアで使用する食品乾燥用のネットなどを使用すれば、鳥や動物の被害も避けられるため、重宝します。

### 適している野菜



ほとんどの野菜・果物を干すことができます。ただし、シタスや水菜など繊細で葉が薄かったり、線が細かったりする野菜は不向きです。また、トマトや冬瓜などの水分の多い野菜はカビがはえやすいので注意が必要です。

出典『干し野菜手帖』誠文堂新光社

『干し野菜百科』河出書房新社

## 都道府県が決まった

### 廃藩置県から150年

#### 明治維新と生活の変化



「五力条のご誓文」、「版籍奉還」、「廃藩置県」などの明治維新による変化を、当時の人々が「御一新」と使ったように、様々な変化がありました。



#### 廃藩置県と影響

明治新政府が確実に政治を進めていくためには、それまでの藩のしくみを変える必要がありました。それが廃藩置県で、1871(明治4)年7月に行われました。

#### 当初は 1使3府302県あった!

江戸時代の藩をもとに決められたので、大小様々の大きさの県が誕生しました。数は、1使(北海道)、3府(東京・大阪・京都)、302県になりました。

#### 現在の都道府県になるまで

県の合併が数回、行われました。現在のようにな1都1道2府43県になったのは、1943(昭和16)年です。また、江戸時代にあった、藩の領地が別の藩の中にある飛び地も、整理されました。しかし、いまだに、境界が確定していない県境や市町村境が全国に数多く存在しています。

#### 岡山県の地名の由来

「岡山県」の県名は、「岡山藩」の藩名をそのまま採用して誕生しました。「岡山」という地名は、酒造神の酒折明神を祀る社殿が「岡山」と呼ばれていたことに由来するといわれます。岡山藩は明治の廃藩置県以降の統合でも大きなトフルもなく、「岡山県」になりました。

出典『47都道府県・地名由来百科』丸善出版

『人物・遺産でさぐる日本の歴史 12』小峰書店

『日本全国境界未定地の事典』東京堂出版

# どっかつカレンダー



## 霜月

【見る】菊、銀杏、烏瓜  
 【香る】金木犀、松茸、花梨  
 【味わう】新蕎麦、秋刀魚、秋鯖、新米

参考：『12か月のきまりごと歳時記』

日	月	火	水	木	金	土	
 やかげ観光大使 やかっしゅ	<b>休館日 1</b> 警備の日 警察庁長官狙撃事件 捜査第一課元刑事の23年 『宿命』 原 雄一／著 講談社 368.6ハ	2 習字の日 最適な文字の形と季節の言葉 『筆ペンで書く ゆる文字』 宇田川 一美／著 誠文堂新光社 728ウ	3 オゾンの日 社会で話題となっているもの 『13歳からの 環境問題』 志葉 玲／著 かもがわ出版 451.3シ	<b>休館日 4</b> ユネスコ憲章記念日 課題や矛盾も表面化 し始めている世界遺産 『世界遺産』 中村 俊介／著 岩波書店 709ナ	<b>PICK UP! 5</b> 津波防災の日 双葉消防本部の消防士が 地元消防の苦難と葛藤を語る 『孤塁』 吉田 千亜／著 岩波書店 369.3ヨ	6 お見合い記念日 「親婚活」に参加する 『うちの子が 結婚しないので』 垣谷 美雨／著 新潮社 BF力	
	<b>7</b>	<b>休館日 8</b>	9	10	11	12	13
ソースの日 『志麻さんの 魔法の ソースレシピ』 志麻／著 マガジンハウス 596シ	世界都市計画の日 世界の街の秘密 『366日の 美しい都市』 小林 克己／著 三オブックス 290.9コ	119番の日 警察小説アンソロジー 『葛藤する 刑事たち』 松本 清張／著 朝日新聞出版 BF力	技能の日 『図解まるわかり プログラミングの しゅみ』 増井 敏克／著 翔泳社 007.6マ	世界平和記念日 問題の根本原因は何か 『日本人のための 平和論』 ヨハン・ガルトウング／著 ダイヤモンド社 319.8ガ	洋服記念日 秘密に束縛される 洋服補修士の女 『クローゼット』 千早 茜／著 新潮社 Fチ	うるしの日 歴史や、復興への歩み 『「備中漆」 復興の歩み』 高山 雅之／著 日本文教出版 K658.7タ	
<b>14</b>	<b>休館日 15</b>	16	17	18	19	20	
世界糖尿病の日 『食べても食べても太らない 映える!おいしい! こんにやく食堂』 柳澤 英子／著 小学館 596.3ヤ	きものの日 『きものが 着たい』 群 ようこ／著 KADOKAWA 593.8ム	幼稚園記念日 『保育者のための 外国人保護者支援 の本』 咲間 まり子／監修 かもがわ出版 376.1ホ	肺がん撲滅デー 危ない肺の隠れ慢性疾患 『その息切れは COPDです』 石本 修／著 さくら舎 493.3イ	もりとふるさとの日 『よみがえる 魚たち』 高橋 清孝／編著 恒星社厚生閣 487.5タ	鉄道電化の日 日本を支える物流の大動脈 『貨物鉄道 読本』 「旅と鉄道」編集部／編 天夢人 686.6カ	ピザの日 愛とウズラの卵と で〜れえピザ 『トッピング』 川上 健一／著 集英社 F力	
<b>21</b>	<b>休館日 22</b>	23	<b>休館日 24</b>	25	<b>PICK UP! 26</b>	27	
インターネット記念日 『オードリー・タン デジタルとAIの 未来を語る』 オードリー・タン／著 プレジデント社 007.3オ	大工さんの日 『これ一冊で はじめる! 日曜大工』 山田 芳照／著 ナツメ社 592.7ヤ	ゲームの日 『Q&Aでわかる子どもの ネット依存と ゲーム障害』 樋口 進／著 少年写真新聞社 374.9ヒ	進化の日 生物の「寿命」は なぜ生まれたか 『生老死の進化』 高木 由臣／著 京都大学学術出版会 461.1タ	金型の日 『作る! 超リアルな ジオラマ』 情景師アラーキー／著 誠文堂新光社 507.9ジ	いいチームの日 『リーダーとして 覚えておいて ほしいこと』 野村 克也／著 PHP研究所 783.7ノ	更生保護の日 『ケーキの 切れない 非行少年たち』 宮口 幸治／著 新潮社 368.7ミ	
<b>28</b>	<b>休館日 29</b>	30	<b>与(あたえ) 勇輝(ゆうき) 展</b>				
太平洋記念日 従軍作家たちの戦争。 作家・火野葦平の戦争。 『戦場で書く』 渡辺 考／著 NHK出版 910.2ワ	議会開設記念日 『トンデモ 地方議員の 問題』 相川 俊英／〔著〕 ディスカヴァー・トゥエンティワン 318.4ア	年金の日 『60歳からの働き方で、 もらえる年金が こんなに変わる』 奥野 文夫／著 WAVE出版 364.6オ	日時：10月24日▶11月14日(休館日：月曜日) 9時～17時 感染状況により変更になる場合があります。 最新情報は美術館HP・フェイスブックを確認ください 場所：やかげ郷土美術館 観覧料：一般：800円、中高生：500円、小学生300円			『リーダーとして覚えておいてほしいこと』 11月26日は、いいチームの日 「戦略・戦術の実行」「データの活用」だけでは、 強いチームはつくりえない。野村克也が、エピソード とともに、リーダーの心得と思想、人の育て方・活 かし方、組織と戦略の神髄を綴る。	



『孤塁』 11月5日は、津波防災の日

地震・津波被災者の救助や避難誘導、さらには原発構内での給水活動や火災対応にもあつた双葉消防本部の消防士約70名が、地元消防の苦難と葛藤を初めて語る。